

ふるさと Something NEWS

第40回

防災の日に見た夢

——コロナ時代こそフェーズフリーを空気感として

一般社団法人 洗楓座
一般社団法人 e f c o . j p
代表理事 佐藤建吉

▼浅間山のふもとで

「防災の日」の9月1日、長野県軽井沢町にいた。昨年10月には台風19号による集中豪雨が大きな被害をもたらした。長野市の千曲川の堤防が決壊し、北陸新幹線の長野新幹線車両センターの施設や車両が水没した。千曲川に架かっていた上田電鉄別所線の通称「赤い鉄橋」も流失し、鉄道は不通となり、今でもバス輸送が続いている。

また、長野県の佐久地域のシンボルである浅間山はしばしば噴煙を上げることがある。昔からの例えのように、地震・雷・水・火事・親父は、恐ろしい。最後の親父は「フェーズフリー」に関する最新情報、その提

で、明確に穏やかになつた。しかし、地震・雷・水は、純粹に自然との関わりが源であり、民主主義では沈黙化されない。水は、集中豪雨やダムが決壊、また崖崩れなども引き起こし、破壊力が大きい。風力発電と水力発電では、同じ作動(回転)原理であるが、空気と水では、空気の比重と水の比重が800倍も水の方が大きいので、イザあるが、夢の中では、海岸の高台に我が家があり、床下まで大波が押し寄せ、洗うという恐怖の夢(悪夢)であった。悲惨であるのは、我が家の崖下に住み家屋敷をもつ人々が、高台に避難し、膝を崩し鳴咽する呻き性を夢として訴えているとも思った。

▼フェーズフリーと恐怖夢

「防災の日」の未明、丑三つ時にmessage rを開いた。すると、崖下に住み家屋敷をもつ人々が、高台に避難し、膝を崩し鳴咽する呻き性を夢として訴えているとも思った。筆者が当地での企画案を空論にしないために、これまで、軽井沢町役場のほか、軽井沢書店や軽井沢のDJにも話し、そしてフェーズフリーの認知を広めようとしている。さらに、長野県庁の佐久事務所にも相談し、支援を願っている。

9月1日には、地元の軽井沢高校の教頭先生に会い、高校生の参加と活動を依頼した。未来への広がりには、若い高校生

の地元を思う気概が欲しいからである。その後、この企画案のセミナー会場となる予定の軽井沢書店を伺い店長に、進捗について報告した。そんな

おり、長野県庁からは、親切で好意的なメールを受け取った。取り組みが、現実実施できることを願っている。

▼コロナ時代にはフェーズフリー

今年の防災の日の行事は、コロナ禍のせいで去年までとは違い控えめだ。「コロナ×災害」がもし現実になると、厄介な対策や結果をつくり出す。が、それを前提とした防災対策が必要なものも現実である。9月1日

発行の軽井沢町の広報誌には、避難所設置訓練の様子を示す写真が、表紙を飾っている。先述のように浅間山の噴煙・噴火、地震、そして集中豪雨など、災害ハザードは当地にもいっぱいある。コロナ禍のほかに、真夏や真冬という避難が困難となる時季もある。災害は、時を選ばない。

事故や災害は、生命(いのち)に関することが多い。日常において、もっとも代表的なハザードは、交通事故である。近年では、事故死者数が、年々減少し不幸にして死亡する人は、2019年には、最小の3215人となった。近年の特徴は、65歳以上の高齢者の割合が50%を超えている。警察庁の目標は、2020年に2500人に設定している。

事故の減少は、法整備と車両対策が要であるという。筆者は1週間前に高齢者教習を自動車教習所で受講したが、50年ぶりの教習所であった。その教官は、長い間の自己流が慣れにつながっているという指摘であった。法律と車両の改善に合致した心掛けと、高齢者は健康維持が必須となる。このように、指導概念や体系は、不特定の人々の行動指針を誘導することができ、災害においても、対策をすることができ、例えば、卑近な例としては天気予報の予測向上がコンピュータの解析能力とシミュレーション技法の成果である。雨量予測のレーダー・ナウキャストは、私たちの暮らしで必須のツールになった。

▼Back to the Future

これに対して、地震の予測は難しく、2020年7月30日の朝に発せられた緊急地震速報は、誤報となつてしまった。地震波の形の取り扱いミスのようなのである。何らかのシグナルを得て発せられるが、その予兆と解釈、つまり日常時と非常時の判定とその大きさという、位置の3次元、時間を加えて4次元、そして大きさを入れて5次元のデータが取り扱われる。これらは見えないデータが取り扱われる。気象の場合、宇宙衛星という目が監視している。見えるか見えないかの違いは大きい。

本紙のコラムにも書いたが、未来への入り方があるという、映画の題名にもなった『Back to the Future』のBackは背中であるという。未来へは、背中から向かうということである。【註1】これは、ホームズの『オデュッセイア』に由来し、『古代ギリシアでは過去と現在が(われわれの)前方にあるものであり、したがって(われわれが)見ることはできないもの(われわれ)の背後にあるものと、考えられていた」とあり、つまり「われわれはすべて目のない背中から未来へ入って行く」、これが、Back to the futureの原意であるという。

フェーズフリーは、日常の中に体験を入れてあり、背中ではなく、全体で立ち向かう点においても、被害を軽減できるという妙案でもある。『Take it easy』(「気楽にやろう」という言葉があるが、災害のない日常時と、災害と向き合う非常時に、ともに役立つ日常時の慣れが非常時に生かせる「フェーズフリー」は、この言葉に合致する。大いに普及すべき新しい防災についての概念であり、日常の空気感にしたい。【註2】

【註1】「日常でも非常時でも活躍!」フェーズフリーは、これからの防災のスタンダード?」第96号(2018年1月22日)に掲載。
<https://www.honda.co.jp/topics/2020/08-phase-free/?from=pickup1&fbclid=IwAR20hXoXTPyrs07CE0hefwnpZ0WwJv3nldatC8hcfQ>

【註2】「ニューウェルズアーグとは?」第77号(2015年6月1日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註3】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註4】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註5】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註6】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註7】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註8】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註9】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註10】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

【註11】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

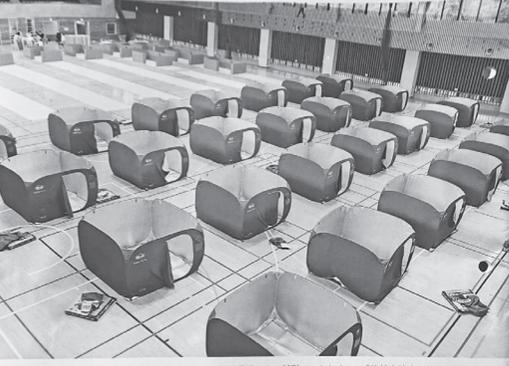
【註12】『フェーズフリーな社会』の構築——フェーズフリーな風車とは?」第134号(2019年6月24日)に掲載。
http://www.kofuza.jp/images/en_27.pdf

新型コロナウイルス感染防止に向けた非難所設置訓練

No.698 令和2年9月11日

わたくしたちのまち 軽井沢町 人口 20,790人 (+63) 男 9,905人 (+24) 女 10,875人 (+39) 世帯数 10,199世帯 (+42) 自然基本台帳9月1日現在

毎月1日発行 軽井沢町 〒389-0192 電話0267-45-8111 ファックス46-3165 ホームページアドレス <https://www.town.karuizawa.lg.jp/>



7月17日 県総合運動場体育館において、役場職員による新型コロナウイルス感染拡大防止を想定した避難所設置訓練を実施し、受付や避難所の設置などを行いました。

【主な内容】
信州版「新たな日常のすゝめ」を実現しよう……p3
9月からマイナビポイントスタート……p5
映画や台風への警戒について……p16
教育委員会だより……p25

9月号

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記事中のイベント等が中止や延期になる場合があります。

連載・自然エネ100パー